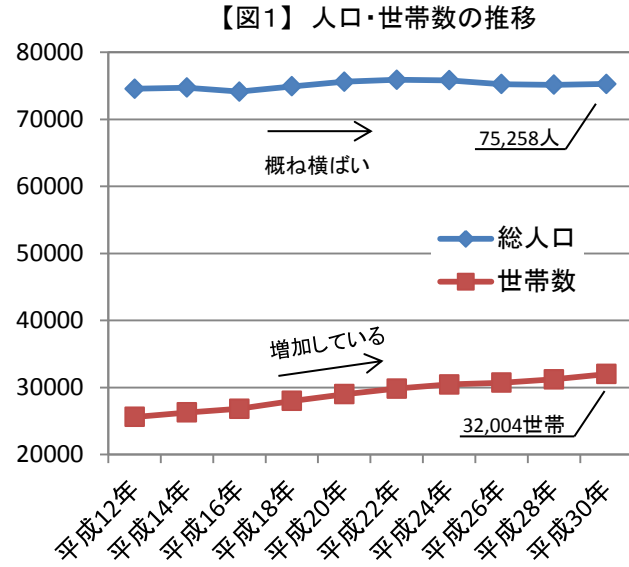


# 桶川市の人口について

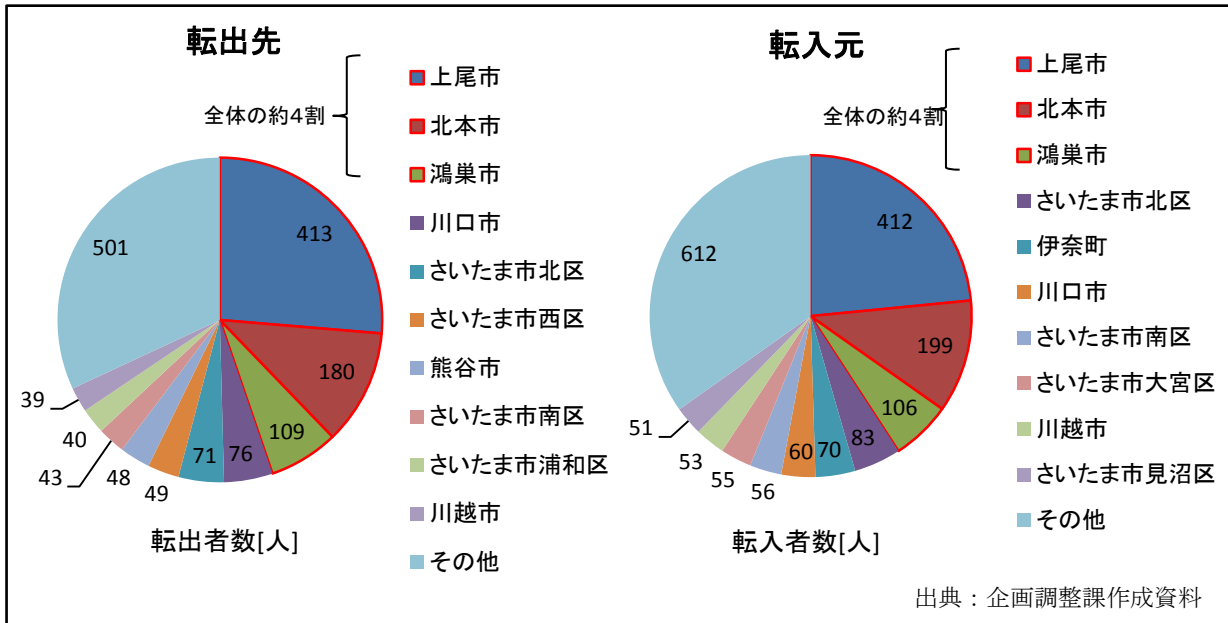
## 1. 桶川市の人口推移

本市の人口は昭和35年より急激に増加し、ここ数年は概ね横ばいに推移しており、平成30年4月1日現在で75,258人となっている。一方で世帯数については年々増加しており、平成30年4月1日現在で32,004世帯となっている。【図1】

県内における転出、転入状況では、共に上尾、北本、鴻巣が上位になっており、近隣市での移動が多くなっている。【図2】



【図2】 平成29年 桶川市の転入、転出状況(県内移動 H28.12~H29.11集計)



【表1】 地区別人口

	人口		増減 (H30-H25)
	H25.4.1	H30.4.1	
駅東側周辺	12,920	12,633	-287
駅西側周辺	16,556	16,309	-247
坂田地区	14,951	15,485	534
日出谷地区	16,697	17,182	485
加納地区	7,447	7,189	-258
川田谷地区	6,876	6,460	-416
計	75,447	75,258	-189

出典 桶川市住民基本台帳人口

## 2. 地区別の人口増減

平成25年と平成30年の人口推移をみると、土地地区画整理事業を実施している坂田地区、日出谷地区については増加傾向にある。

都市基盤の整備に伴い人口が増加しているものと考えられる。【表1】

## 3. 建築行為と出生数

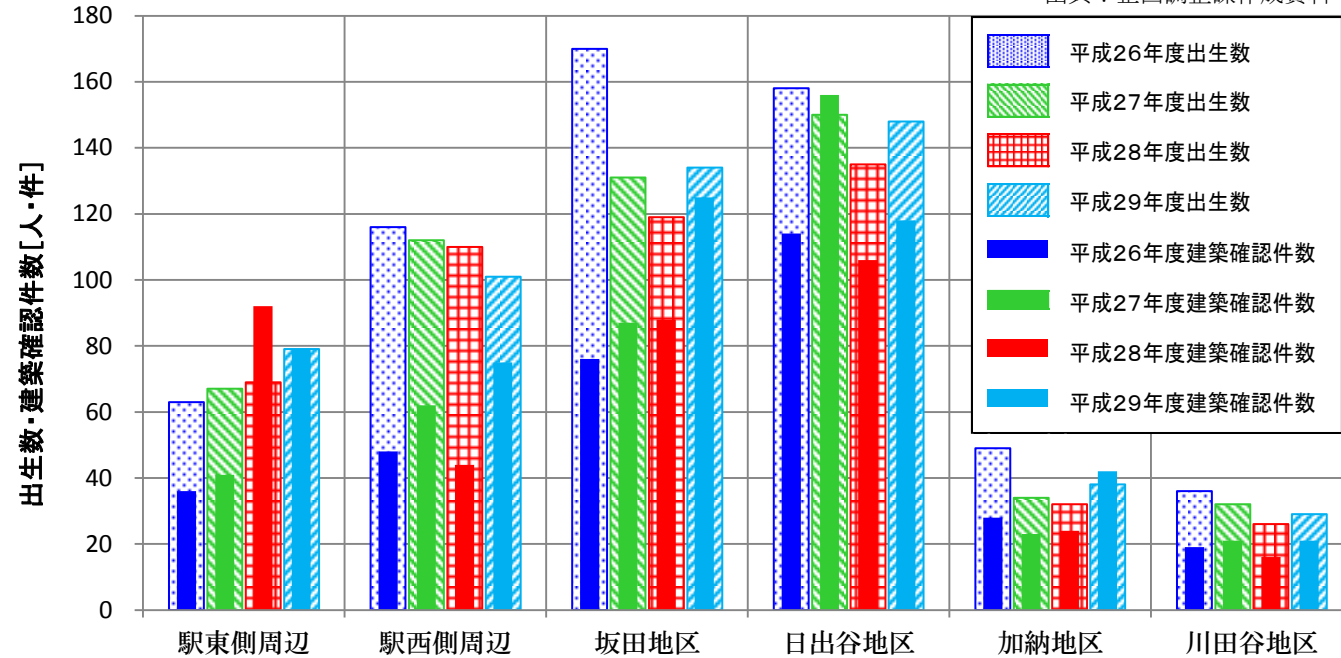
本市における建築行為の発生数と出生数の関係を見ると、現在土地地区画整理事業を実施している坂田地区、日出谷地区は事業進捗に伴い建築行為が多く発生し、出生数も多くなっている。【図4】

【図3】 地区区分図

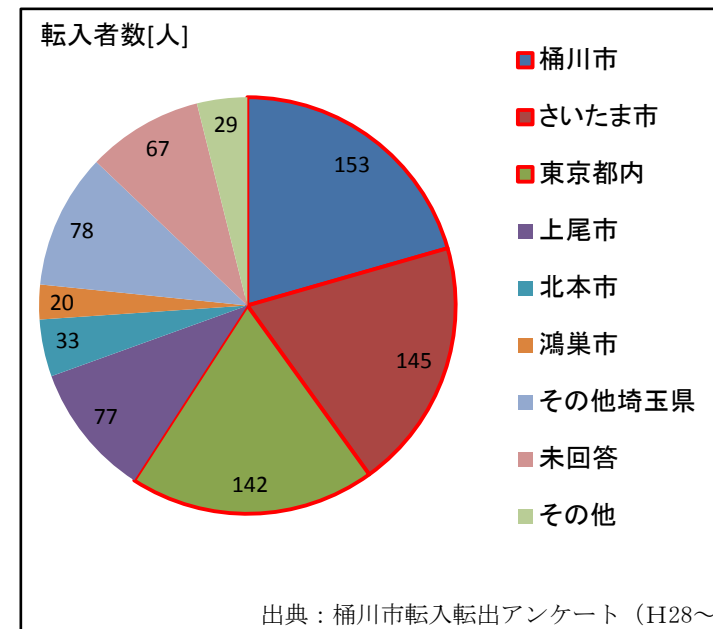


【図4】 建築行為と出生数

出典：企画調整課作成資料



【図5】 転入者通勤・通学先割合



## 4. 転入者の通勤通学先について

近年、本市に転入した方の通勤・通学先を見ると、桶川市内に次いで、さいたま市、東京都内となっている。

上尾市、北本市、鴻巣市より、さいたま市(政令市)、東京都内が多いことから、住宅都市として雇用等を都心(政令市)に依存している状況にある。【図5】